

## これまでの4年間の成果と課題

三重県立図書館は、改革実行計画「明日の県立図書館」に沿ってさまざまな取組を行ってきました。その中で挙げられる主な成果としては、まず県内図書館のネットワークの強化があります。展示の企画や掲示物の作成を県立図書館で行い、展示する内容・期間は市町立図書館等の創意工夫に任せる連携展示や、企画・広報・運営を県立図書館と市町立図書館等とで分担しながら地域で開催する連携講座により、以前に比べて図書館のネットワークはより強いものとなりました。特に、東日本大震災からの復興支援を目的に平成23年度から毎年開催してきたキャンペーン企画「東北を知ろう、東北へ行こう!」は、県内外の図書館から概ね評価をいただいています。

また、資料収集方針の見直しや市町立図書館等からの除籍資料の受入開始などのほか、初任者研修など県内の図書館員の研修機会の充実にも努め、県の中央図書館としての役割を果たしてきました。

学校図書館との連携においては、従来から運用してきた市町立図書館等との物流システムを拡大し、県立学校図書館も含めた物流ネットワークを構築しました。

このほか実験的な取組として、医療・健康コーナーやティーンズコーナーを開設しました。特に医療・健康分野では、病院や患者支援団体などと新たな連携を始めています。

平成24年秋には、「明日の県立図書館」を通じて、県立図書館が県内の図書館活動を積極的に推進している点を評価していただき、Library of the Year 2012 優秀賞を受賞しました。



「東北を知ろう、東北へ行こう!」キャンペーンポスター（平成23年度）



医療・健康コーナー

このような成果の一方で、県内の図書館の情報把握と共有、図書館の利用が難しい方々に向けた取組が十分でなかったほか、医療・健康分野以外での他団体との連携はあまり進まず、実験的な取組についても市町立図書館等への普及までは至りませんでした。

また、資料を保存する閉架書庫の収容能力に余裕がなくなっていることから、対策を検討する必要があります。